



LANDSCAPE
DEVELOPMENT
NEWS LETTER

景観 まちづくり ニュース



令和4年11月15日
杉並区都市整備部みどり公園課発行

〒166-8570 東京都杉並区阿佐谷南1丁目15番1号
電話：03-3312-2111（代表）

2022
創刊号

- ・杉並百景のいま
- ・荻外荘復原・整備プロジェクトを進めています
- ・グリーンズローモビリティ導入に向けた取り組み
- ・イベント情報：『紅葉ライトアップ』を開催します

平成4年、区政施行60周年を記念して身近な杉並の街・街並みを見直してもらうことを目的に「杉並百景」を選定しました。「杉並百景」の選定にあたっては、「あなたの一景。このまちの一景。みんなで百景」をキャッチフレーズに一人一人が大切にしている「わたしの一景」を広く募集しました。この中から候補地200景を絞り込んだ「杉並の人とまち」を作成し、投票により「杉並百景」が選ばれました。

「杉並百景」選定後、30年が経過しました。当時の街並みや景観は、どうなっているのでしょうか。

今回、撮影してきました写真の一部をご紹介します。今と昔の写真を見比べながら、時代の変化とともに進化する街並みを、未来の杉並の景観を考えるきっかけになったら幸いです。

杉並百景のいま

【荻窪駅の荻】

荻窪駅のホームから車両と荻を撮影したものです。左に映る車両は201系からE233系に新しくなっています。後方の建物は一部無くなりました。一方で、荻は地域の方々の尽力もあり、今も残っていました。



【西荻南3丁目のフラワーショップ】

西荻窪駅から少し歩いたところにあるフラワーショップです。1992年は、建物の外観がはっきり分かりましたが、現在では、建物を覆うみどり豊かなフラワーショップとなりました。

荻外荘復原・整備プロジェクトを進めています

昭 和35年、「荻外荘」は、「荻窪会談」が開かれた客間を含む建物の東側半分が、豊島区内に移築されました。杉並区は、この部分を創建の地荻窪へ再移築したうえで政治の表舞台となった頃の姿に復原し、令和6年12月に史跡公園として公開する「荻外荘復原・整備プロジェクト」を進めています。きっかけは、近衛文麿のご次男の逝去後、地元十町会長から杉並区に出された要望書でした。これを受け杉並区は、平成26年に「荻外荘」の敷地と建物を取得し、復原・整備について検討を始めました。杉並区は、相当な費用を要するこのプロジェクトを、寄附の募集という形で日本全国の幅広い方々から賛同を得ながら進めており、この夏、いよいよ復原・整備工事に着手しました。



「荻外荘」復原イメージ



創建時の「荻外荘」(個人提供)

「荻外荘」について

荻窪駅南側の住宅街にある「荻外荘」は、内閣総理大臣を3度務めた政治家近衛文麿(このえふみまろ)が、昭和12年の第一次内閣期から20年12月の自決に至る期間を過ごし、昭和戦前期の政治の転換点となる会議を数多く行ったところです。このような歴史を持つことから、日本政治上重要な場所であるとして、平成28年3月に国の史跡に指定されました。

「荻外荘復原・整備プロジェクト」ホームページ(杉並区公式ホームページ内)

<https://www.city.suginami.tokyo.jp/kyouiku/bunkazai/tekigaiso/fukugen/index.html>



「グリーンスローモビリティ」(グリスロ) 導入に向けた取り組み

荻窪駅からやや離れた住宅地に位置する荻窪三庭園へのアクセスはかねてから課題となっています。杉並区では、(仮称)荻外荘公園の開園を見据え、ゆっくりと、狭い路地でも通行ができる低炭素な乗り物として「グリスロ」に着目し、導入に向けて実証運行をしながら取り組んでいます。ぜひ、区民や来街者の回遊に資するグリスロに乗って、荻窪の新たな魅力を探してみてください。



令和3年度試乗会でのグリスロ走行の様子

イベント情報

『紅葉ライトアップ』を開催します



今年も大田黒公園でライトアップを開催いたします。開催期間中は、開園時間を延長し、特別にライトアップされた紅葉をお楽しみいただけます。イチヨウやモミジが織り成す幻想的な紅葉風景をぜひご堪能ください。

【開催場所】大田黒公園(荻窪3丁目33番12号)

【開催期間】11月25日(金)～12月4日(日)

【開催時間】月～木：午後5時～午後8時(最終入園 午後7時45分)
金・土・日：午後5時～午後9時(最終入園 午後8時30分)

【入園料】大人300円／小・中学生100円